

フクチャレ
2023



フクチャレ2023に協力!

県立大学の学生より、福祉の取組みを若者視点で発信するフクチャレ2023において、取材協力をしました。この事業は、県立大学と県社協が福祉のイメージアップを図る企画として昨年実施し、今年は「子どもが育つ地域活動」が題材でした。学生2名が劇団【プラム】の稽古場を見学し、子どもの活動や取材を通じて感じたものを手作りのチラシで表現してくれました。学生の二人は自分の体験を振り返り、センターが大切にしている「子どもの人権の尊重」と「自分らしく育つ」ことをより現実的に伝えるように、手書きで



表現してくれました。また劇団の活動を取り上げ、具体的に子どもの主体性を伝えています。多くの大人に見て欲しい!という学生達の思いが、チラシを手にしてくれる方に伝わりますように。

バックナンバーはこちらから



こども Channel

みる きく
あそぶ かんがえる

チャンネル



発行: 認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター URL: <http://childnpo.com>

こどもChannel 73号

2024年3月25日発行 通巻第73号

個性を出してもいい社会



さよならキャンプ 沼畑真

私は、さよならキャンプという演劇ユニットで、様々な演劇活動をしています。ここ数年は、子どもたちと演劇ワークショップをすることが増えて、毎年色々な子どもたちと出会います。将来的に、演劇に関係する仕事を目指している人もいますし、何かを表現したくて来ている人もいます。具体的な目標がなくて来ている人もいます。家で何かあったのかなという人もいますし、学校はどうしたのかなという人もいます。様々です。そんな子どもたちが、演劇に触れて楽しそうにしている姿を見ると、とても嬉しくなります。そして私は、学校も、環境も、性格も、趣味も違う色々な子どもたちが大人になっても楽しいと思える社会を作りたいと思っています。——— 現代は、多様性の社会と言われています。前述したように色々な人がいるので、色々な人と一緒に生きていかなければなりません。そんな時に私は、表現すること、特に演劇が有効だと思っています。多様性の社会とは、ある意味で個性を認め合う社会です。個性とは、出そうとして出るものではなく、勝手に出てしまうものだと思います。家庭や学校などが、もし個性が認められない環境であれば、子どもたちは個性を隠すでしょう。子どもたちに必要なのは、個性を出してもいいのだと気づくこと。そして、周りの個性を許せる力です。——— まず、演劇は楽しいものです。楽しんで演じたり、自分が思うままに動くと、その人の個性が自然と出てきます。楽しくないと個性はなかなか出にくいものです。個性が出た表現を周りから認められると、個性を出すことに抵抗がなくなっていきます。また、自分ではない他者を演じることで、エンパシーを育みます。他者の気持ちに共感することができます。そういう人もいるのだと感じることで、他者を理解して認め合うきっかけになります。また、演劇の創作活動では、価値観の違う人たちと一緒に作っていくことになるので、自然と他者を受け入れることになります。他にもありますが、演劇は個性を認め合うのにとっても有効だと思います。——— しかし、そう簡単ではありません。子どもたちと活動していても、思い描いたような方向にいかないことは多々あります。しかし子どもたちの楽しそうな姿を見ると、素晴らしい社会をこの子たちが作ってくれるのではないかと期待をしてしまいます。これから子どもたちの個性を引き出して、それを認めることを続けていきたいと思っています。

Information Clip

インフォメーション・クリップ



「楽しい!あそび」をレンタルしませんか?

幼稚園、児童クラブ、地域のお祭りはもちろん、ご自宅でも遊んでみませんか? 高校の文化祭でも遊んでいただきました!

- スマートボール
- 巨大ジェンガ
- 千本引き
- 空き缶つりぼり
- 皿回し
- 巨大だるまおとしなど

広告企業

株式会社 ADK	株式会社 Yivaan	株式会社 福井ライン
株式会社 Du's	六感デザイン	緑の中の美園づくり 上屋敷工業株式会社
株式会社 サビデンキ	さわやか矯正歯科クリニック	山内整形外科
光タクシー 有限会社	春日装備 株式会社	つちだ小児科

認定NPO法人 福井県子どもNPOセンターにご支援ください

子どもNPOセンターは、国際条約でもある「子どもの権利条約」に沿って子どもの最善の利益を考えて日々の活動をつないでいます。

A 賛助会員

- 個人 一口 5,000円/年
- 団体(法人) 一口 10,000円/年

子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動を支援する会員。

B ボランティア会員

- 個人 一口 1,000円/年

子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動にボランティアとして協力・参加する個人。

A B の入会と決済方法

① 右の2次元コードにアクセスし、会員登録フォームに必要事項を入力して送信

② 決済方法を選択

郵便振替 00770-1-45546 福井県子どもNPOセンター

オンライン決済

C 一般寄付も受け付けています

郵便振替 00770-1-45546 福井県子どもNPOセンター

オンライン決済 右の二次元コードにアクセスし、決済を進めてください。

HPからも簡単に子どもNPOセンターに寄付ができます。ソフトバンクが提供する「つながる募金」の寄付サービスを利用開始しました。右の二次元コードからご支援をお願いいたします。

◎税制上の優遇措置について 「認定特定非営利活動法人」へのご寄付や正会員以外の年会費等は、下記のような税制上の優遇措置(寄附金控除)が受けられます。

- ① 個人のご寄付
- 【所得税】(寄付金の合計額-2,000円)×40%が税額控除されます。※上限: 所得税額の25%
 - 【住民税】自治体によって異なります。お住まいの自治体にお問い合わせください。
 - 【相続税】相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に寄付した場合、寄付をした財産には相続税が課税されません。

- ② 法人のご寄付(法人税)
- 一般寄付金の損金算入限度額は別に、損金算入することができます。
 - 詳細については、最寄りの税務署にお問い合わせください。
 - また、国税庁のウェブサイトにも手続きの詳細が掲載されています。

◎記事や情報に関するお問い合わせは福井県子どもNPOセンターまで

HP	Instagram	LINE
Youtube	Facebook	X (旧Twitter)

企画・編集 / 認定NPO法人福井県子どもNPOセンター デザイン / 六感デザイン・Neu

認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター

〒918-8106 福井市木田町36-1 コーポ木田201号
TEL 0776-97-8460 / FAX 0776-97-8461 / E-mail childnpo@muse.ocn.ne.jp

もう何年も子どものまちづくり参画の仕事に携わって思うこと。確実に子ども達の意見を言う力、みんなと話し合う力、人の意見をしっかり聞く力が育って、地域が大好きになる。これからの社会ますます可能性が広がると思います。(Cosmos)

Hop on Hop off

Take Free [無料]

劇団【プラム】
第2回公演『神宝夜』終了しました



3月3日(日)ショッピングシティベル3階あじさいホールには、13人の緊張している表情。210人を超える方々に『神宝夜』を観ていただきました。『神宝夜』は自分たちで創った台本を手日々稽古を重ねてきました。劇中の音楽やダンスも団員が手掛けました。本番が終わった後のロビーには、団員・お客さん・スタッフ大勢の笑顔が見られました。多くの皆さんに支えられ、団員たちの達成感につながりました。ありがとうございました。



表現ひろば



積み重ねた稽古が、
実を結びました!



畑 空吾

大人の表現
ワークショップ&講義開催



~子どもの活動の場に演劇を取り入れるには~

●2月4日(日) 福井県社会福祉センターにて
子どもの人生を豊かにするとされる非認知能力。この力を育むために注目されている『演劇』。これを子どもの活動に取り入れるにはどうしたら良いか。講師に劇団さよならキャンプさんをお迎えし、まずは演劇を楽しめる大人を増やそうとワークショップを開催しました。参加者の皆さんは、ほとんどが初対面の方たちだったにもかかわらず自由に表現をし、どんな表現も互いに受け入れ終始笑いが絶えず、楽しみながら学んでいる様子でした。『演劇』には色々な力があると確信し、もっと子どもたちの身近に『演劇』があるように、これからも『演劇』の力を伝えていきたいです。



ワークショップを
開催しました!



裏方の技術も、
大人の演劇表現も面白い!

オッシー

中高生対象
演劇裏方ワークショップ開催

赤い羽根共同募金

●1月6日(土) 福井県県民ホールにて
30名の中高生が参加し音響、照明をプロの技術者さんから学びました。基本的な機材の説明を受けてから実際に触れて動かし、最後に作品づくりをする事でその効果を実感していました。子どもたちからは、『たくさんの人の力で舞台が成り立つことを強く感じた。』『舞台の裏側を知ったので演劇を見る時、今までとは違った見方ができるような気がする。』などの感想がありました。特別な技術を真剣に子どもたちに伝える姿、それを目をキラキラさせて見て学んでいる子どもたちの姿は素敵でした。



ふくいチャイルドライン

子どもたちが安心できる
居場所づくり

令和5年度、ふくいチャイルドラインでは、継続研修の内容をより充実させるとともに、受け手養成講座では、子どもたちの「いま」に関する講演や自らを知るワークショップを開催し、新たに11名の仲間が増えました。子どもたちによりそい、ともに考えてくれる仲間が増えていくことに心から喜びを感じると同時に、今後も活動の幅を広げていきたいと考えており、その一つとして、現在の福井ライン、奥越ラインに加え、新たに嶺南ラインの開設を目指しています。また、チャットやオンライン電話の開設を視野に入れ、準備を進めていきたいと思ひます。これから先も、子どもたちの安心できる居場所であり、受け手ボランティアの方々にとっても、子どもたちとの一期一会の場である。そんなふくいチャイルドラインであり続けていきたいと思ひています。



ふくいチャイルドライン
室長 岡田伊佐央

11名の仲間が
増えました!!

子どもアドボカシー

子どもアドボカシー
基礎講座を開催しました

子どもの声を聴き、必要に応じて社会に代弁者としてその思いを伝えるアドボカイト。このアドボカイトを養成する子どもアドボカシー基礎講座を開催しました。国連子ども権利条約12条に明記される意見表明権は、子ども基本法においても保障され、今後子どもの社会参画がさらに進んでいくことが予想できます。アドボカシー先進国であるイギリスのように、全ての子どもたちの声が聴かれる社会を目指す、子どもアドボカシー学会の養成講座を共催で実施しました。

「子どもの声が聴かれました
社会を目指そう!」



ちこ

話を聴く、
声を届けろ!



Aya

子どもアドボカシーって...?

子どもアドボカシーって何??子どもの話を聴き、その思いや声が届くよう支援する事。小学校に図書ボランティアで読み聞かせや、図書整備のお手伝いしているの、そんな場をアドボカシーとして使えないかなと考えてます。やっぱり、子どもも親も自分の存在を知って欲しいし、声(思い)を聴いて欲しいと思ひているよね。そして、それが形になるといいね。



子どもと
文化企画

劇鑑賞会 開催!

- 7/27(木)・28(金) 福井県県民ホール
- 11/19(日) みくに未来ホール

主催：公益社団法人日本劇団協議会 / 総合劇団俳優協
協力：認定NPO法人福井県子どもNPOセンター

2023年度の演劇鑑賞会は、総合劇団「ミュージカルあらしのよるに」を福井市と坂井市の2会場で実施しました。ヤギとオオカミの友情を描いた80分間は、子どもたちの心が会場に響いていました。心を育む生の舞台鑑賞は、子どもにとっても大人にとっても価値ある時間。これからもたくさんの良い作品を子どもたちに届けます。

生の舞台鑑賞で
心を育む!



谷内由美子

木田児童クラブサポート事業

きのこのこのこ遠足

- 11月27日(土) 美山木ごろの森
参加者14名

~グリーンボランティア活動支援事業~

当日は天候が悪く室内での活動になりましたが、自分で作った万華鏡の中に色づいた葉っぱや木の実を入れ、一瞬しかないきれいな模様みんなで歓声をあげました。その他にも動物の絵合わせゲームをしたり、キーホルダーも作りました。山の中の散策はできませんでしたが、楽しい時間が過ごせました。



劇鑑賞会「ハンドシャドーショー」かし座

- 12月26日(火) 福井県県民ホール

手や頭などを使って、動物の影ができるのを目の当たりに子どもたちの表情は興味深々でした。途中、子ども達にも影絵の作り方を教えてくださり、クラブに戻ってから教わった影絵を真似て子どもたちが動物を作って遊びました。

雪あるかな遠足

~グリーンボランティア活動支援事業~

- 1月27日(土)
美山木ごろの森
参加者15名



その週に恵みの雪も降り、絶対にある!雪遠足になりました。初めて履くスノーシューにみんなでこずりましたが、山の中に入り動物たちの足跡などみつけたたり一面の雪を前にして子ども達はとても興奮していました。お楽しみのソリの時間が少し短くなってしまいましたが、みんな貴重な体験ができたのではないかと思います。帰りのバスの中ではみんな疲れきってぐっすりでした。

自然体験、演劇鑑賞で
子どもたちの色々な表情が
見られました!



木田児童クラブ
クラブ長
岡田 美香